



## 「のどちんこ」があるのはなぜなの

「のどちんこ」は、ふたの役目をしている

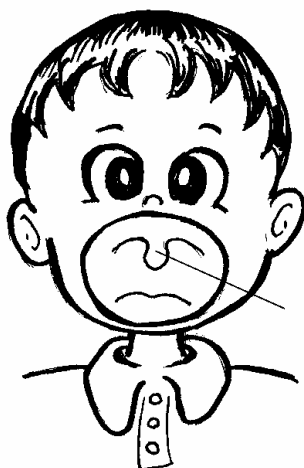
口を大きく開けたとき、のどのところにぶら下がっているのが、「のどちんこ」です。口のおくの方は、鼻のおくのところと、つながっています。

「のどちんこ」は、食べ物をぐっと飲みこんだときに、食べ物が鼻の方へいかないように、鼻へいく通り道をふさぐ、ふたの役目をしているのです。

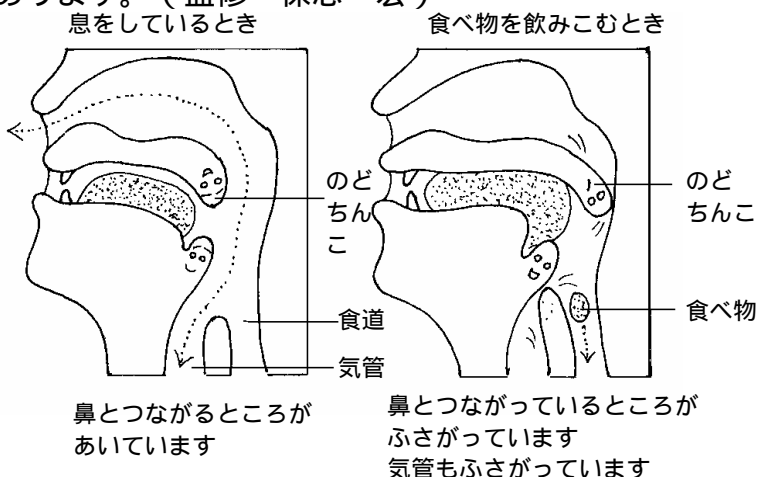
### のどのしくみは

のどのおくには、食べ物が胃へいくための、「食道」という通り道と、息を吸ったときに、空気が肺へ入ったり出たりする、「気管」という通り道の、二つの通り道があります。

「のどちんこ」のことは、口蓋垂といい、「気管」の入り口のところは、喉頭蓋といいますが、食べ物がのどの方へくると、口蓋垂が鼻へ通じるところを、そして、喉頭蓋が気管の入り口を、それぞれふさぎ、食べ物が、「食道」以外の鼻や「気管」に、いかないようにしています。しかし、あわてて食べたりすると、「気管」にふたをするのが間に合わなくて、むせたり、せきこんだりすることがあります。（監修・保志 宏）



のどちんこ



息をしているとき  
鼻とつながるところが  
あいています

食べ物を飲みこむとき  
鼻とつながっているところが  
ふさがっています  
気管もふさがっています

